

BIG BEN

「びっぐべん」は年4回発行です

p1 講演会レポート

「広重も驚く『江戸とシティの比較論』」

**p2 領事便り：英国から日本への帰国・
入国時の水際対策（新たな措置）**

p3 エッセー：日英のはざままで 第1回

p3 短信：叙勲のお知らせ

p4 日本クラブのイベント&講座案内

p5 同好会案内/お知らせ

※タイトルをクリックすると、各ページが開きます。

「シティ散策ツアー」ガイドによるオンライン講演会レポート

「広重も驚く『江戸とシティの比較論』」開催

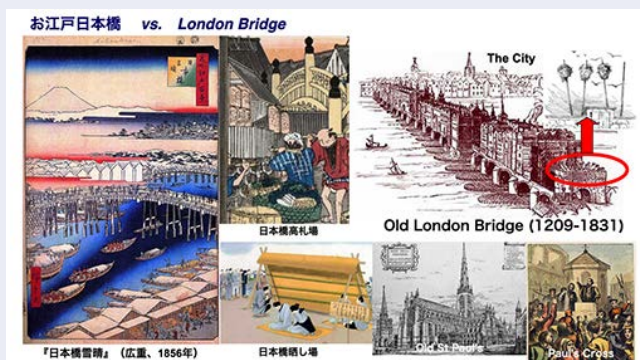
日本クラブ会員サービス委員会は、「シティ散策ツアー」で大人気のシティ公認ガイド、坂次健司さんを講師に迎え、1月28日（金）にオンライン講演会を開催。江戸とロンドンの歴史的な絵画や写真を示しながら、テンポよくその共通点を解説していく坂次さんの話に、70人超の聴衆が惹きつけられた。

zoomで行われた今回の講演会は、日本と英国の年表を重ね合わせることからスタート。徳川15代将軍のタイムラインとロンドン大火など英国における歴史的な出来事が時系列に併記された分かりやすい資料がモニターに映し出される。加えて「水戸黄門」などお馴染みの時代劇が背景としている時期もわかるようになっていて、歴史がぐっと身近に感じられる構成だ。広重作品の余白に見られる、当時の出版許可印である「改印（あらためいん）」に関する解説に続いて、いよいよ、江戸とロンドンの比較論が始まる。

広重の描いた江戸の日本橋と、ロンドン・ブリッジとの多くの共通点がスリリングにひもとかれていく。両方も東西に流れる川に南北に架けられた橋であること、橋の北側に魚河岸が発祥したこと、日本橋南詰には高札場とその向かいの広場に晒し場が、ロンドン・ブリッジの南側がやはり晒し首の舞台となっていたことなど、それらの共通点には枚挙にいとまがない。

さらに町の発展へと話題は移り、見張所としての江戸の見附とロンドンのシティ・ゲートの比較、短い休憩を挟んで、さまざまな職種の人々が住み分けた江戸とシティの地名比較など、知的好奇心を喚起する内容満載の105分は瞬間に過ぎた。

今回はオンラインでの講演会であったが、4月以降、

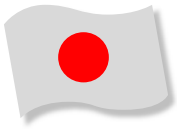


坂次さんがガイドを務めるイベントは、座学セミナーの他、5つのシティ散策ツアーに加え、グリニッジと大英博物館、リージェンツ運河の計8ツアーが予定されている。（日程は4ページ参照）。ユーモアたっぷりに歴史に明るくない人にもわかりやすく、グイグイと引き込まれて、最後にはもっとロンドンが知りたくなる、そんな坂次さんのトークに触れられる絶好の機会となるだろう。

坂次健司（さかつぎ けんじ）



平日は金融市場取引の専門家として、週末はシティ公認ガイドとして活躍。寅七のペンネームで「英国ニュースダイジェスト」紙にコラム「シティを歩けば世界がみえる」を好評連載中。YouTube寅七チャンネル「ちよい深ロンドン」も不定期更新中：www.youtube.com/channel/UCsdPN_PChYjxqgQU7cHACsA



英国から日本への帰国・入国時の水際対策（新たな措置）

3月3日午前0時以降、英国から日本への帰国・入国に際しての待機期間等が以下のとおり変更になりました。

1 入国者の待機期間等

(1) 新型コロナウイルス感染症のワクチンを3回接種していない方

英国から帰国・入国する方で、新型コロナウイルス感染症のワクチンを3回接種していない方は、原則7日間の自宅待機を求められますが、入国後3日目以降に自主検査を受け、陰性の結果を厚生労働省（入国者健康確認センター）に届け出て確認が完了した場合は、その後の自宅待機の継続は求められません。自主検査で認められる検査実施機関は、厚生労働省が指定している機関又は衛生検査所で、かつ検査はPCR検査又は抗原定量検査に限られます。

(2) 新型コロナウイルス感染症のワクチンを3回接種している方で接種証明書を保持している方

英国から帰国・入国する方で、新型コロナウイルス感染症のワクチンを3回接種していることが確認でき、日本政府が有効と認める証明書を保持している方は、入国後の自宅待機を求められないこととなりました。

(3) お子さんの場合

接種年齢要件で追加接種（3回目接種）を受けられないお子さん（接種証明書を所持していない）については、原則として追加接種による待機期間の短縮は認められませんが、有効な接種証明書を所持する保護者が同伴し、当該お子さんの行動管理を行っている場合は、特例的に、有効な接種証

明書を所持する者として取り扱われ、当該保護者と同様の待機期間の短縮が認められることとなります。追加接種の年齢要件は、接種を受ける国によって異なります。

2 入国後の公共交通機関の使用について

上記1（1）に該当する方は、入国後の待機のために自宅等まで移動する際は、公共交通機関の使用が可能となります。ただし、入国時の検査（検体採取時）から24時間以内に移動が完了し、かつ自宅等までの最短経路での移動に限ります。

なお、ワクチン接種証明書の有無及び接種回数にかかわらず、「出国前72時間以内の検査証明書」の提出や帰国・入国日における検疫所での検査等は引き続き必要となりますので、ご注意ください。証明書に不備がある場合、航空機への搭乗が拒否されますので十分にご注意ください。

（※上記の水際対策は、3月4日時点のものです。）

【参考】

- 水際対策に係る新たな措置について
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00209.html
- 検査証明書の提出について
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00248.html
- 検査証明書Q&A
<https://www.mhlw.go.jp/content/000825073.pdf>

【問い合わせ窓口】

○厚生労働省新型コロナウイルス感染症相談窓口（検疫の強化）

日本国内から：0120-565-653

海外から：+81-3-3595-2176（日本語、英語、中国語、韓国語に対応）



英国人に 人種差別意識はあるか

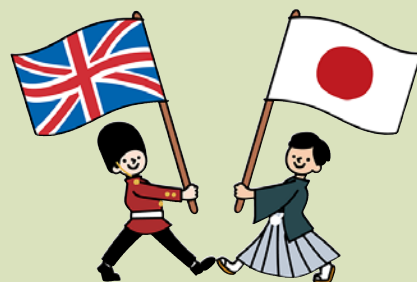
私は1970年にフリーのフォトジャーナリストとして英国にやってきた。当時の英国は戦勝国であり、余裕があるというか、誰もが生活を大いに楽しんでた。ハイストリートの商店街は賑わっており、パブには毎晩大勢の人が集まって大騒ぎをしていた。東洋の敗戦国から来た若者に興味を持つ人はいなかった。それでも生活に慣れ、友人もでき英国人社会の中に入り込むことが出来る様になり、徐々に英国人氣質というようなものが見えてきた。

私は真珠湾攻撃や天皇のこと、或いは原爆のことを問いただされるのではないかと心配していたが、サムライのことや、空手、柔道とか盆栽のことを矢継ぎ早に聞かれた。逆に私は空手も柔道もやったことはなく、もちろん茶の湯や生け花も習ったことがない。西洋文化に憧れ日本の伝統文化を見返らなかつたことが大いに悔やまれた。

一般の英国人は寛容でプライドが高い。違う人種や宗教に対しては、束縛しないし排斥しようという動きもない。それでは人種差別はないのかというと、それはイエスであり、ノーである。もちろん中には白人優先主義の人もあるだろうが、ほとんどの人はそうは思っていない。

私は英国に来てから差別で悩まされた記憶はない。もちろん70年代はどこに行っても有無を言わせず私は中国人だったし、子どもが両手で目を吊り上げて「中国人！」と叫んだりした。ウエールズに取材に行った時には小さな村の役人から「Remember the Pearl

Harbour!」と言われたこともあるし、ある会社へ取材に行った時には、「日本人が来るから重要な書類は隠せ!」とわざと大声で叫んだ人もいた。



しかしこんなことは世界中どこの国でも起こっていることである。英国は過去に植民地を持ち、奴隷売買で儲けた国である。過去の栄光を忘れられない人もいるだろうし、復活を夢見る人もいるだろう。しかし大多数の英国人は差別意識を持っていない。中国人が最近では日本人と間違えられるとこぼしている。それだけ日本のプレゼンスが上がったということかも知れない。

差別というのは本人の意識の問題でもある。自分に自信を持ち、相手を尊敬すれば差別意識は生まれてこない。充分なコミュニケーションが非常に重要な役割を果たす。相手を理解すること、自分を理解させることが差別を無くす重要な要素になると思う。

加藤 節雄 (かとう せつお)

ジャーナリスト。東京生まれ。35年間続けた「びっぐべん」の編集を昨年で引退し、現在はデボンとロンドンで執筆活動を続けている。英国に関する著書多数。多くの日英交流活動を手掛け、日本の外務大臣表彰、英国のMBE勲章などを受章している。

短 信

COMMUNITY

PLAZA



満山喜郎氏が叙勲

ロンドンしゃくなげ会（在英英国福島県人会）の会長を務める満山喜郎氏が旭日単光章を受章した。満山氏は、ロンドンしゃくなげ会の会長として、平成23（2011）年3月に発



生した東日本大震災で甚大な被害を受けた福島県の復興支援に尽力、特に、福島第一原子力発電所事故による福島県産品への風評被害を払拭するための活動に力を入れてきた。また、毎年秋にトラファルガー広場で開催されるジャパン祭りでも福島県産品を紹介、ロンドン在住の音楽家による震災コンサートを開催するなど、各種行事を通じて義援金活動を継続している。平成

24（2012）年7月には、震災被害に対する英国の支援への感謝と被災地の早期復興を願う気持ちを込めた、ホーランド・パーク内の福島庭園の開園にも尽力した。

叙勲の伝達式は、昨年12月8日（水）、在英日本国大使公邸において行われた。（写真 日本大使館提供）

日本クラブのイベント & 講座案内

日本クラブでは年間を通じて、会員の皆様に向けたイベントや講座を開催しています。ぜひふるってご参加ください。

日本クラブ主催 2022 年イベントカレンダー

坂次健司さんがガイドするセミナー&散策ツアー	
4月22日 日	第2回シティ散策座学セミナー
5月14日 日	リージェンツ運河ツアー
7月9日 日	シティ散策ツアー 中央
7月16日 日	シティ散策ツアー 南
8月6日 日	シティ散策ツアー 東
9月中旬	シティ散策ツアー 西 (オープンハウスに合わせて開催)
10月15日 日	シティ散策ツアー 北
10月22日 日	グリニッジツアー
11月12日 日	大英博物館ツアー



上記のほかにも、会員サービス・イベント委員会がイベントを企画・開催しています。詳細は、お知らせメール、およびホームページをご参照ください。

※イベントの日程は予告なく変更になることがあります。最新情報はホームページにてご確認ください。

その他のイベント (☆印は仮日程につき要確認)	
4月下旬	医療関連セミナー (ジャパングリーンメディカルセンター講演)
6月5日 日	日本クラブ年次ゴルフ大会
6月中旬	新規赴任者向けセミナー (医療他、新生活お役立ち情報)
6月26日 日	ナローボート乗船体験ツアー☆
9月10日 日	ワイナリー見学バスツアー☆
10月2日 日	クリサンシマムカップ
10月9日 日	ハマースミス日本庭園清掃ボランティア☆

語学教室 & ゴルフアカデミー開催中

英語教室 (対面/オンライン視聴)

会話中心のクラスです。ビジネスクラスは仕事に役立つ英語を学びます。経験豊富な英国人講師が教えます。
クラス：初級、初中級、中級、上級、ビジネス中級クラス
各 12 週間 (2 時間× 12 回)

受講料：£252 (ビジネス中級クラスは £264)

※ 4 月 25 日開講分の受講者を募集中です。

フランス語教室 (対面/オンライン視聴)

4 月 21 日より再開！受講者募集中です。

クラス：初級・初中級 各 12 週間 (2 時間× 12 回)

受講料：£260

ゴルフアカデミー

ロンドン西部アクスブリッジの会員制クラブで、日本人有資格インストラクターが、各レベル別に指導します。
クラス：年 7 回開講。週 1 回 (2 時間) 計 6 回 (ドライビングレンジ× 5 回、ラウンド 2 時間× 1 回)
受講料：£240 ※次回の開講は、5 月 28 日予定です。

イベントにレンタル会議室をどうぞ

中 (1 室)・小 (2 室) の会議室を会員主催のイベントや会議にご利用いただけます。プロジェクターとマイク兼スピーカー (Jabra810) も有料貸し出ししています。
※会議室にて開催予定のイベントに関しては、ホームページをご参照のうえ、各主催者にお問い合わせください。

●各講座、レンタル会議室とも、詳細はホームページをご参照ください。

活動報告：グリーンコーラス

日本クラブ女声合唱団グリーンコーラスは 2021 年 9 月から対面練習を再開しています。昨秋 11 月 17 日にメイダパールのシナゴークで 2 年ぶり 24 回目の慰問演奏会を開催。「きみ歌えよ」「木星」などを中心に、せめて曲で旅行を味わっていたらこうと各国の元気になる曲を演奏しました。



マスクをして演奏しました

皆さまが満面の笑顔で手拍子をしたり口ずさんだりしてくださり、歌が世界を繋げてくれたと実感できたひと時でもありました。6 月には例年より小規模ながら、演奏会を開催します。どうぞお越してください。

◆第 32 回定期演奏会

6 月 25 日 (土) 午後 4 時～ 5 時

Trinity Church Golders Green

90 Hodford Road, London NW11 8EG

日本クラブ理事の交代

- ◆ 会長：片山祥徳氏より高田明彦氏へ（ともに三菱商事）
- ◆ 副会長：矢部延弘氏より桑田誠一氏へ（ともに丸紅）
- ◆ 副会長兼書記長：山名宗氏より中村家久氏へ（ともに住友商事）
- ◆ 医療サービス委員会（正）：内山貴由氏（双日）より中澤裕氏へ（三菱 UFJ 信託銀行）
- ◆ 広報委員会（正）：砂田浩孝氏より植田粧子氏へ（ともに共同通信）

日本クラブ新規加入の法人会員

- ◆ 早稲田アカデミー U.K. Co. Ltd

日本クラブ・ゴルフ同好会

- ◆ 月例会：開催中
- ◆ 会場：Maidenhead Golf Club
- ◆ 問い合わせ：☎ 07956-551363（外山健二）
kenjitoyama787@gmail.com
随時入会受付中（申し込みはHP から）

日本クラブ・ブリッジ会

- ◆ 例会：毎週木曜日（11:30am 開始）
- ◆ 会場：ヤングチェルシー・ブリッジクラブ
<http://ycbc.co.uk> 見学者歓迎
- ◆ 問い合わせ：holbourne.sachiko@gmail.com

日本クラブ・グリーンコーラス

- ◆ 練習日：毎週月曜日（10:15～12:30）
- ◆ 会場：Trinity Church, Golders Green
- ◆ 問い合わせ：londongreenchorus@gmail.com

日本クラブ囲碁会

- ◆ 例会：毎週土曜日（14:00～20:00）
- ◆ 会場：Inn of Court Pub 地下鉄Chancery Lane Exit 3より直進2分
- ◆ 問い合わせ：☎ 07956-594040（田中）
tanaka@gokichi.org.uk

クラブサロンのご利用について

日本クラブのクラブサロンはロンドン中心部セント・ポール大聖堂のテムズ川対岸のサザックにあります。ラウンジや会議室、ソフトドリンク等のサービス施設があります。テムズ川南岸のこの地区は再開発が進むエリアで、テートモダン・ギャラリーを始め、数々の店やレストランが並んでいます。地下鉄ジュビリー線のサザック駅から徒歩5分、ロンドンブリッジ駅からは10分の便利な場所にあります。



地図はホームページの「日本クラブご案内図はこちら」をご参照ください。

www.nipponclub.co.uk

- * 現在、英国政府の各種規制解除にともない、会議室の貸し出し（4ページ参照）を再開しております。ぜひご利用ください。

● Nippon Club

Ground floor, Europoint Centre

5-11 Lavington Street, Southwark, London SE1 0NZ

* 平日午後6時以降と土曜日は会議室の利用状況により閉館することがあります。

TEL : 020-7921-9490, Email : jimukyoku@nipponclub.co.uk

月曜～金曜：午前10時～午後9時（事務局は午後6時まで）

土曜：午前10時～午後4時（事務局は休日）

日曜・祭日は原則休館

ロンドン日本人学校

ロンドンにある特性を生かしつつ、学習指導要領に準じた教育を実践しています

- 運動会・文化祭などの行事
- 整った学習環境
- きめ細かな進路指導・進路講演会
- 英会話や英語活動
- 英語検定や漢字検定の実施
- 現地校との交流
- 放課後の楽しい部活動（5年生以上）
- 通学バス利用可



入学・転入学随時受付 TEL: 020-8993-7145

ロンドン補習授業校

英国の現地校等に通学している子ども達が、国語（日本語）の勉強をする「サタデースクール」です

- 毎週土曜日午前中授業
- 授業回数年間約40回
- 校舎はアクトン、プレント、クロイドンの3校舎
- 小・中学部・高等部（学習指導要領に準じたカリキュラム）
- 日本語科（日本語を第2母国語とし、日本語の習得を望む児童生徒を対象に7クラス設置）

2022年広報委員会委員（4月1日現在）

- 委員長：植田 粧子（共同通信）
- 副委員長：光安 浩（全日空）
- 大使館：益子 千香（広報文化センター）
- 大使館：園部 健治（領事）
- 委員：北原 悠（三菱商事）
- 委員：井上 尚幸（住友商事）
- 委員：笹川 真理子（英国文化センター）
- 委員：安田 和代（KRes Europe）
- 委員：北田 美香（英国日本婦人会）

広報委員会の主なる任務は年4回発行される会報「びっぐべん」の編集・発行と、クラブのホームページの運営、その他一般的なクラブの広報・宣伝活動です。委員長は日本のメディア各社の代表が毎年交代で務め、その他の委員は毎年交代する人と継続して務める人がいます。

2022年3月帰任の先生

ロンドン日本人学校

- | | |
|-----------------|----------|
| 石山 秀樹（いしやま ひでき） | 校長（埼玉県） |
| 伊深 智美（いぶか ともみ） | 教諭（宮城県） |
| 武居 裕之（たけい ひろゆき） | 教諭（東京都） |
| 香川 朋未（かがわ ともみ） | 教諭（滋賀県） |
| 児玉 真理（こだま まり） | 教諭（宮崎県） |
| 鈴木 慎（すずき しん） | 教諭（神奈川県） |
| 桐 陽介（きり ようすけ） | 教諭（熊本県） |

ロンドン補習授業校

2022年は帰任者なし